



筋

骨隆々の姿を披露してくれたのは、御年74歳のボディビルダー山上登さん。

「子どもの頃は体が細く、力もなかった。高校生の頃に筋肉をつけて強くなりたかった」とい、自己流で体を鍛えました」

20代で4年ほどジムを利用した後はジム通いをやめるも、50代で再開。そして、体の状態が最も良かったという61歳の時に、満を持して「第31回群馬県ボディビル選手権大会」に出場します。年齢制限がなく最も厳しいとされる一般の部に参加し、20〜30代の参加者が入賞する中で第2位に輝き、周囲を驚かせました。

限界を感じ一度は引退したものの、10年以上のブランクを経て、昨年から再度のジム通い。徐々に筋力を戻しつつ、80歳になったら年代別カテゴリーの日本マス

挑戦を続け、その先へ

ターズにチャレンジするという新たな目標もできました。

「若い時に負けた相手よりも長く鍛え続けていけば、実質的には自分が勝つ」という信念を掲げる山上さん。この言葉に感銘を受けたというジムのトレーナーは、「山上さんほどに年齢を重ねても筋肉を鍛えられるという、40代の自分ではまだ経験できないことを見せてもらっています」と話してくれました。

幼少期のコンプレックスをばねに変え、年齢を理由にせず努力を重ねてきた山上さんの最終的な目標は「最後まで自分の足で歩き、自分の体を自分で動かすこと」。まずは80代でのマスターズ入賞を目指して、今日もトレーニングに励みます。

(市民記者 小林春美)

キラリ話題の人

山上 登さん

- ・ボディビルダー歴50年
- ・第31回群馬県ボディビル選手権大会 男子総合2位



ようこそ 市長室からこんにちは！

このたびの7月17日から18日にかけての記録的豪雨により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、隣接する足利市をはじめ周辺地域でも大きな被害が発生しました。迅速な避難行動や互助にご協力いただいた市民の皆様、対応にあたられた関係機関の皆さまに深く感謝申し上げます。

今後も気候変動に伴い同様の集中豪雨が発生する可能性があります。日頃から「ハザードマップ」で危険リスクや避難経路をご確認いただき、最新の気象・防災情報に十分注意するとともに、地盤が緩んでいる箇所や河川など危険な場所には近づかないようお願いいたします。

さて、本市では若い世代や女性から「選ばれるまち」を目指し、職場環境の改革に取り組んでおります。

先月7月には、内閣府男女共同参画局長の岡田恵子様を講師にお招きし、「地域の働き

方・職場改革講演会」を開催いたしました。講演では、全体的に働きやすく、働きがいを感じられる「職場」について、その魅力を高めるための国の施策の動向や、全国の先進的な職場環境づくりの事例が分かりやすく解説されました。これからの地方企業が持続的に成長するためには、従来の働き方を見直し、「若者や女性に選ばれる職場」へと進化していくことが不可欠であると、参加者の皆さまと認識を共有いたしました。

今後、アンケート分析やワークシoppを通じて労働環境改善の取り組みを本格化させ、その魅力を市内外へ強力に発信してまいります。現在、この実現に共にチャレンジしていただける事業者の皆さまを募集しています。市全体で「働きがいと働きやすさ」を追求し、選ばれる佐野市を共に創り上げていきましょう。

佐野市長
金子 裕





穏やかな時を願って 野生動物たちが残したサイン

昨年から、各地でクマの被害が出ています。市内でもクマやイノシシの被害が起きていますが、山を歩くとそうした動物の活動の跡を見ることがあります。

写真はクマ棚(①)。場所は、熊鷹山付近で、クマが木に登り実を食べる際に折った枝を尻に敷いてできたものです。これを見るとクマはかなり木登りが得意なようです。写真のクマ棚は少し貧弱で、あまり実がなっていなかったと思われます。

次の写真はイノシシが土の中の虫などを捕食するために牙で掘り返した跡(②)。イノシシの牙は非常に鋭く、攻撃されたら大けがです。興奮して猪突猛進という場面には今のところ会っていませんが、怖い動物です。また、稲なども食害を受けます。

(市民記者 福田満)



①クマ棚
②イノシシが牙で掘り返した跡

sanoteens が取材！ 第20回佐野市民音楽祭

7月5日(日)、葛生あくとプラザにおいて、佐野市民音楽祭が開催されました。当日は合唱の部と重奏・合奏の部に分けられ、多くの人々が来場しました。青少年ボランティア「ここっとゆうす」もボランティアとして参加し、運営に携わりました。

合唱の部では、混声合唱団や女声合唱団などの歌声がホールに響き渡りました。子どもから大人まで幅広い世代が参加し、中には80代の方もいらっしゃったようです。どの団体も圧巻のパフォーマンスでした。

重奏・合奏の部では、フルートやオカリナ、金管楽器によるアンサンブル、オーケストラ、吹奏楽などの団体が参加し、さまざまな音楽で会場が盛り上がりしました。定番曲はもちろん、流行りのJ-POP曲も演奏していました。観客を巻き込んだ演奏もあり、多くの人を笑顔にしていました。

今年は記念となる20回目の開催。息をのむような演奏がホールを包み込み、特別な時間となりました。



(sanoteens おとは)



奥佐野の伝統行事 八坂神社祭典

7月19日(日)、飛騨地区において、伝統の八坂神社祭典が行われました。

この祭典は、市北部の飛騨地区に古くから伝わる祇園祭で、疫病よけが由来と言われています。寛政元年(1789年)から今日まで大切に守られてきた伝統的な祭りです。

当日は緑深い山々を背に、山車が勇壮に動き出しました。地域の方々の力強い掛け声とともに囃子(はやし)を奏で、伝統を受け継ぐ誇りと熱気が響き渡りました。

住民の幸せを願い、山車は山神社までを練り歩きました。夏休み中の地域の子どもたちも参加し、行事を通して地元の伝統を学ぶ機会となりました。山車を引く人も周りから見守る人も、子どもから大人までが掛け声などで心を1つにし、祭典は大いに盛り上がりしました。